

# ヘッシャー式乾草調製法

— 針金による乾草の作り方 —

岡本昌平

○雨の比較的多い地方でも乾草の調整ができます。

○乾草の増産は酪農に成功する秘訣です。

夏の間は牧草地に乳牛を放けい牧したり、山草、青刈飼料等もあり、比較的飼料に心配なく牛乳が生産されますが、冬期においては、夏に確保した飼料にのみ依存しなければならぬので、基礎飼料が充分でない場合には、いきおい補助飼料（購入飼料）の購入割合が大きくなり、牛乳生産の低下と、酸性飼料の偏食による病気を誘発し、経済的に二年、三年と影響を受けますので、冬期の飼料確保を今から考慮して乾草の増産等を実行いたしましょう。

乾草の作り方にはいろいろありますが、特に六月中旬から七月中旬にかけて本州の場合は梅雨期とり、乾草作りに非常に苦心いたします。そこで雨降りでも刈り取り調整のできるヘッシャー式乾草法を御紹介いたします。

## 針金乾草のできる飼料

- 1 マメ科 禾本科牧草類、野草類
- 2 大豆の青刈
- 3 大麦、小麦、ライ麦の青刈、その他

## 針金乾草に必要な器具

- (一) 刈り三、〇〇〇キの生牧草として
  - 1 丸太 三〇本 ありあわせで良い
  - 2 金テコ 一本 牧草地に穴をあける
  - 3 ホーク 二丁 あれば一丁はヘイホーク
  - 4 鋼鉄線一六番のなまししたもの (一〇〇キ分四〇〇分 一、一〇〇円くらい)
  - 5 熊手 一丁
  - 6 鎌 二〜三丁 大鎌であれば一丁
  - 7 なわ 少々
- 作業の手順 (図解参考)
- 1 牧草刈り (雨降りでもよい)
  - 2 牧草地穴あけ
  - 3 木柱たて
  - 4 針金張り 一段を張り草をかけ、二段を張つて草をかけ、三段を張るといふように五段までかける。草丈の短い草ではつめて七段まで掛けられる。
- 梅雨期でも良い乾草が作られる

天候に支配されて良質の乾草がまだ取れない所が各所に見受けられますが、今まで述べた乾草法は主にノールウエーで一般に行われている乾草の作り方、日本と同様、雨量が多いにもかかわらず、この方法で立派なものを調整していますので、日本の梅雨期でも他の乾草の作り方よりも良質のものができます。牧草類はなるべく根の方を表にかけますが、クローバー類ではうすく、禾本科のものは少し厚くかけてもかまいません。が、平均にダンゴにならぬように掛けること、また掛ける時はホークや手でもよいですが、よく手折ることの二点に注意することが必要です。

天気の良い時であれば三〜五日ででき上ります。雨の中で刈り取つてもかまいませんが、掛けてから時々牧草の中に手を入れて、むれていたらよくほぐしてやります。また乾燥したものはすぐ運んで収納するようにします。

ノールウエーでは、馬鈴薯、ビート、カブ以外の飼料作物は、ほとんど前記の方法で乾燥しています。

- (1) この乾草法の良い点は、作業が簡単である。

- (2) 輪作に依りて乾草ができる。
- (3) 雨の中でも他の方法にくらべ良質のものができる。
- (4) 青く乾燥されるので蛋白やその他の栄養がよく保持される。

針金のはしは牧草地に投げず、また飼料中に混入しないように処分します。

針金は冬期間油をつけて保存しておきますと、一〇年〜一五年、又はそれ以上長持ちしますので、充分手入れをしておくことが大切です。

針金より乾草をはずす時は、よく乾いたものは手前に落し、乾きのたりのないものは反対側に落して片方によせ、もう一度掛けるおとして完全に乾かすようにします。

なお収納する時は、梱包箱を使用してビートパルプ型にうち抜いて保存しましょう。

使用する針金のテストについては常時行つていますが、次表のテストからBが一番良いと思われま。

昭和三五年八月一日現在の普及の状態は (過去一八月月間、岩手県、青森県、秋田県で八八秒になつています。

(雲印乳業KK花巻工場)

種	類	張	力	花	火	手	備	考
A	ノールウエーから持つて来たもの	五	五	赤	色	七回	ノールウエーから持つて来た乾草専用針金	
B	鋼鉄一六番のナマシタもの	三〇〜三五	五	細	赤	色	一六回	乾草乾燥専用として一〇〇キ当り六・五キで岩手県和賀郡販売している
C	普通一六番線	五	五	軟	赤	色	一回	一航市販のもの

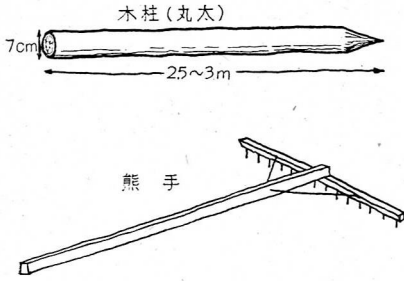
# ノールウェーの ヘッシャー式

## 乾草の作り方

以上説明いたして参りました乾草の作り方について、次に①より⑥まで図解説明いたします。更に重複いたしますが、これらの操作を容易に理解していただくために、次頁に①から⑥までの写真説明をいたしたいと考えますので、図版ならびに写真によつて御諒解いただきたいと存じます。

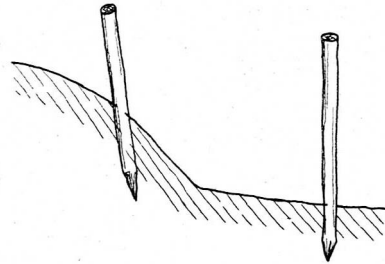
### (1) 用意するもの

木柱、針金、金デコ、ホーク、熊手、草刈鎌、縄でできるだけ自分の家で用意するよ  
うにする。



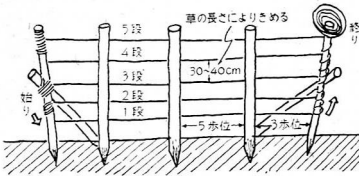
### (2) 木柱の立て方

傾斜地に木柱をたてる場合は、いくらか山手に向けるようにする。又風向きに平行にたて、風の強い時は支柱を立てる。



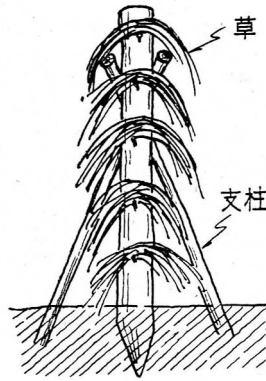
### (3) 見取図

木柱は一直線に立てる様にする両端の木柱は強いものを使い、斜めにする。



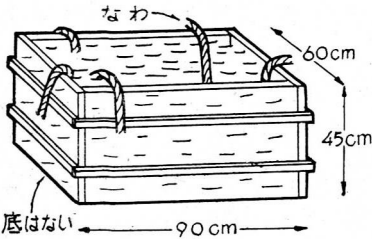
### (4) 草の掛け方

草は屋根のようにかける。雨の日には一番上段にだけビニールをかけるが良い。草は良く手折り下段の草に幾分かかさる程度にかける。厚さは六疋位にする。



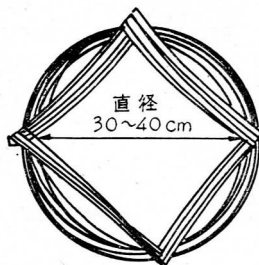
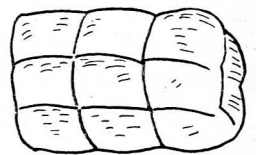
### (5) 梱包の仕方

梱包箱にタテ、ヨコにナワを置き乾草を少しずつ入れて足でえみながらいっばいになったらかたくしばつて収納する。



### (6) 針金の束ね方

まず始めに直径三〇〜四〇センチ位の輪を五〜六作る。次に四角形に表裏表裏とくりかえして束ねる。五角形でも良いが四角形の方が作業がしやすい。針金をしまふ時は油をひいておくこと。以上



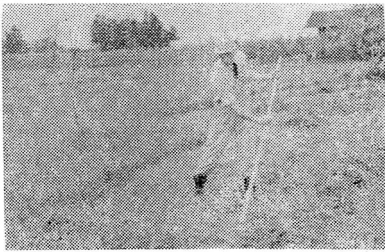
牧草と園芸創刊百号記念特集号発行  
牧草と園芸誌は、昭和二十八年三月創刊以来  
次号を以つて通刊百号を算するに至りました。  
その間の御支援を厚く御礼申し上げます。  
ついでに六月号を創刊百号記念誌として秋播  
種子価格なども掲載して、従来以上に内容の充  
実した特集号として発行いたしますので御期待  
下さい。  
なお、御届けの時期が六月中旬になりますこ  
とを御許しいただきたくあらかじめ御案内いた  
します。



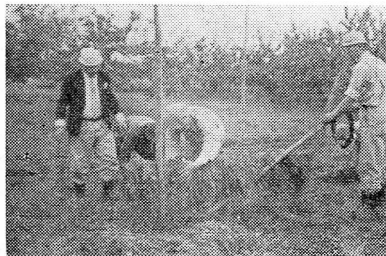
③ 4~5本の針金を中心に左右に束ねるとハジけない。針金は良くマシン油（モービル油）等をつけておく。



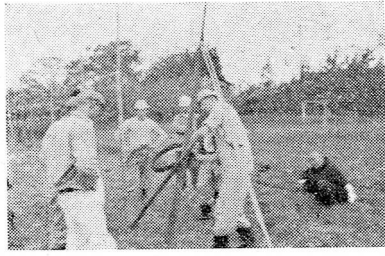
② 草刈が終わったら金テコで約5歩間隔でハサの柱をたてる穴をあける。



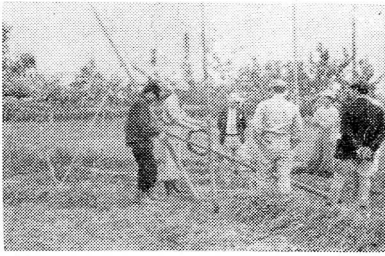
① 草丈は最低30cm位迄かけられる、草は片刈が望ましい。(モーター等利用すると更に良い)



⑥ 1段目草のかけ始め草は良く手折る事。



⑤ 両端の木柱はやや外側に傾ける、支柱と共に良く針金でしばる。



④ 針金の張り始め



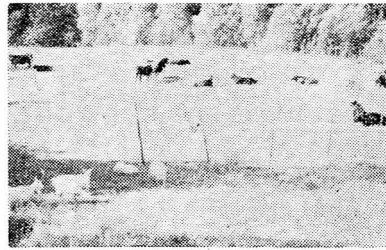
⑨ 1本の草も無駄なく熊手で集めて乾草にする落草は最上段(5段)にかけると良い。



⑧ 乾草作成上もし原料が茎等太い場合には「ワラ打ち機」等でツブすと出来上がりが早い。



⑦ 上段の場合 マニアホーク又はテイホークを利用しても良い。本州の草屋根の原理で草をかけて行く。



⑫ 麦類を針金で乾して収納した跡地に家畜をいれ1本の麦、草等迄家畜の腹を通す。



⑪ ノールウェイにおける乾草作り(ヘッジャカーバイト)



⑩ 出来上がり直前、雨の時にはこの上にビニールを掛けても良い。